実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

（省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋）

学校名：学校法人三幸学園 札幌ブライダル＆ホテル観光専門学校

学科名：ホテルエアトラベル科

授業科目名	単位数
観光総合知識A	2
マナープロトコールA	2
ビジネスマナー	2
合計	6

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム A		
必修選択	必修	（学則表記）	未来デザインプログラム A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	7 つの習慣 J テキスト 夢のスケッチブック（WEB アプリ）		出版社	FCE エデュケーション	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	7 つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分を身につける。
到達目標	・7 つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7 つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	なし
関連科目	未来デザインプログラム B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	松本 桂 ／ 実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	夢のスケッチブックアプリの使い方を学ぶ SANKO ワークコンピテンスの理解を深める
2	7 つの習慣とは？	7 つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
3	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
4	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ
5	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ

6	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
7	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
8	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
9	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第 2 領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム B		
必修選択	必修	（学則表記）	未来デザインプログラム B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	7 つの習慣 J テキスト 夢のスケッチブック（WEB アプリ）		出版社	FCE エデュケーション	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	7 つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分を身につける。
到達目標	・7 つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7 つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	なし
関連科目	未来デザインプログラム A
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	松本 桂　　実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	Win-Win を考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
3	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
4	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを学ぶ
5	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ

6	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
7	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
8	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する
9	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
10	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
11	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
12	7 つの習慣授業の復習	7 つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
13	未来デザインプログラムの振り返り	７つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する
14	2 年生に向けて①	1 年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
15	2 年生に向けて②	1 年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	観光総合知識 A		
必修選択	必修	（学則表記）	観光総合知識 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道観光ハンドブック		出版社	（一社）北海道商工会議所連合会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	北海道の観光を理解する。観光客を親切にもてなすことができる。		
到達目標	北海道観光マスター検定合格		
評価基準	授業態度 50％ テスト 4 回 50％		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	北海道観光マスター検定		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	辻川 千尋	実務経験	○
実務内容	旅行会社勤務 9 年、添乗員 7 年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	基礎知識・北海道観光マスター検定とは
2	観光地①	観光地（道央圏）
3	観光地②	観光地（道北圏）
4	見学	大通り公園などの観光資源
5	観光地③	観光地（道南圏）
6	観光地④	観光地（オホーツク圏）

7	観光地⑤	観光地（釧路・根室圏）
8	見学	北海道さっぽろ観光案内所
9	観光地⑥ テスト	観光地（十勝圏） テスト 1 回目
10	知識①	北海道の遺産・歴史
11	実践・企画	HAC「若者の翼」応募
12	知識②	北海道の祭り
13	知識③	北海道の自然
14	知識④ テスト	北海道の交通網と交通機関 テスト 2 回目
15	発表・討論会	夏休みの体験発表

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	観光総合知識 B		
必修選択	必修	（学則表記）	観光総合知識 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道観光ハンドブック		出版社	（一社）北海道商工会議所連合会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	北海道の観光を理解する。観光客を親切にもてなすことができる。		
到達目標	北海道観光マスター検定合格		
評価基準	授業態度 50％ テスト 4 回 50％		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	北海道観光マスター検定		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	辻川 千尋	実務経験	○
実務内容	旅行会社勤務 9 年、添乗員 7 年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	見学	オータムフェスト
2	検定対策	北海道観光マスター検定対策
3	検定対策	北海道観光マスター検定対策
4	検定対策	北海道観光マスター検定対策
5	検定対策	北海道観光マスター検定対策
6	検定対策	北海道観光マスター検定対策

7	検定対策 テスト	北海道観光マスター検定対策 テスト３回目
8	発表・討論会	北海道の観光をみんなで考える
9	見学	狸小路
10	発表・討議	狸小路の活性化（討議・発表）
11	講義・討議	観光でまちおこし
12	知識⑤	観光の実践
13	知識・討議⑥	観光の実践
14	見学	さっぽろ雪まつり
15	総まとめ テスト４回目	おもてなしの心とは テスト４回目

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	マナープロトコール A		
必修選択	必修	（学則表記）	マナープロトコール A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	マナー・プロトコールの基礎知識 マナー・プロトコール検定 2 級・3 級問題集		出版社	日本マナー・プロトコール協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	観光業界で働く上で必要なマナーやプロトコールを習得する
到達目標	マナー・プロトコール検定 3 級に合格することができる
評価基準	テスト 50% 小テスト 30%　授業態度 20%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	マナー・プロトコール検定 3 級
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	林 美香　　実務経験　○
実務内容	航空会社勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、ねらいと到達目標について、マナー・プロトコール検定の概要、マナーとは
2	マナーの歴史と意味	各国のマナーの成りたちと特徴
3	好感度を高めるポイント	第一印象、挨拶、表情・笑顔、立ち居振る舞い
4	言葉遣いと話し方	言葉遣い、聴き方・話し方のポイント
5	自己紹介	歩き方、姿勢、自己紹介

6	プロトコール①	プロトコールの原則、異文化を知る
7	プロトコール②	席次、国旗
8	手紙のマナー	手紙のマナー、手紙を書いてみよう
9	ビジネスマナー	会社とは、社会人意識、名刺交換
10	電話応対とクレーム対応	電話応対、トラブル対応
11	来客応対①	来客応対
12	来客応対②	茶菓接待
13	ビジネス文書	各ビジネス文書のマナー
14	前期テスト/喜ばれる贈答	テスト実施、贈り物のマナー
15	まとめと総括	テスト問題解説、質疑応答、前期総復習

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	マナープロトコール B		
必修選択	必修	（学則表記）	マナープロトコール B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	マナー・プロトコールの基礎知識 マナー・プロトコール検定 2 級・3 級問題集		出版社	日本マナー・プロトコール協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	観光業界で働く上で必要なマナーやプロトコールを習得する		
到達目標	マナー・プロトコール検定 3 級合格		
評価基準	検定試験 30% テスト 30% 小テスト 20%　授業態度 20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	マナー・プロトコール検定 3 級		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林　美香	実務経験	○
実務内容	航空会社勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	和食のマナー	食事作法の基本、和食のマナー、和室の作法
2	洋食のテーブルマナー	西洋料理のマナー、各国のマナー
3	「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは、日本の主な通過儀礼
4	「婚」のしきたり	結婚の変遷とマナー、礼装の基準
5	「葬」のしきたり	葬送儀礼のしきたりとマナー

6	「祭」のしきたり	日本の年中行事
7	模擬試験①	模擬試験実施
8	模擬試験②	模擬試験実施
9	模擬試験③	模擬試験実施
10	模擬試験④	模擬試験実施
11	模擬試験⑤	模擬試験実施
12	模擬試験⑥	模擬試験実施
13	模擬試験⑦	模擬試験実施
14	後期テスト	テスト実施
15	まとめと総括	テスト問題解説、質疑応答、検定直前総復習

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	コミュニケーション演習 A		
必修選択	必修	（学則表記）	コミュニケーション演習 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法		出版社	ウィネット	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	人前での話し方。良好な人間関係の作り方（コミュニケーション能力）を学ぶ
到達目標	人前で落ち着いて自分の考えが話せる 人の話をよく聞き発言できる
評価基準	制作物：30% 発表(やる気・声の大きさ等)：30% 協調性：20% 授業態度：20%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	岡本 雄矢　　実務経験　○
実務内容	タレント、作家

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、目標 発声練習・自己紹介
2	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・ジェスチャーゲーム
3	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・教科書記入
4	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・撮影・敬語の基本

5	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・プレビュー、振り返り
6	人前での話し方を意識する	発声練習・夢と動機発表・教科書
7	人前での話し方を意識する	発声練習・GW の出来事制作発表・ジェスチャーゲーム
8	人前での話し方を意識する	発声練習強化・1 ヶ月経ってを制作発表
9	人前での話し方を意識する	発声練習強化・決まった時間で自己紹介作成発表
10	腹式呼吸と活舌の レベルアップ	発声練習強化・決まった時間で自己紹介暗記発表
11	腹式呼吸と活舌の レベルアップ	発声練習強化・目的地までの道案内・面接の話
12	人前で暗記して話す	発声練習強化・教科書・個人で記入グループで答え合わせ答え発表
13	誰にでも分る話し方をする	発声練習・教科書記入・全員参加でゲーム
14	挨拶の効用	発声練習・挨拶、マナー、エチケットについてを話し合い発表
15	挨拶の言葉遣い	発声練習・教科書記入、答え合わせ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	コミュニケーション演習 B		
必修選択	必修	（学則表記）	コミュニケーション演習 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法		出版社	ウイネット	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	人前での話し方。良好な人間関係の作り方（コミュニケーション能力）
到達目標	人前で落ち着いて自分の考えが話せる 人の話をよく聞き発言できる
評価基準	制作物：30% 発表(やる気・声の大きさ等)：30% 協調性：20% 授業態度：20%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	岡本 雄矢
実務経験	○
実務内容	タレント、作家

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	効果的に話す	発声練習・ 5 W2H を制作発表
2	効果的に話す	発声練習・話にナンバーリング作成発表
3	効果的に話す	発声練習・主第ー話題ー主張作成発表
4	効果的に話す	発声練習・AIDMA を制作発表
5	効果的に話す	発声練習・暗記して話す撮影、プレビュー

6	集団でのコミュニケーション	発声練習・地震に役立つ物（指導の手引き）
7	感情をコントロール	発声練習・怒り等の感情を知る・ゲーム
8	聞く事の重要性	発声練習・本読み
9	情報収集・プレゼンテーション	発声練習・対話紹介、手引き
10	集団でのコミュニケーション	発声練習・結婚披露宴の席順
11	集団でのコミュニケーション	発声練習・買い物案内図
12	聞き方全般の意識・技術向上	発声練習・気持ちを受け止める
13	受容する事を体感	発声練習・価値観を受け止める
14	話を聞く・話題を振る 空気を読む	発声練習・フリーコミュニケーション
15	1 年のまとめ	発声練習・1 年を振り返って制作発表

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	観光マーケティング		
必修選択	選択	（学則表記）	観光マーケティング		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	新版 観光マーケティング入門		出版社	同友館	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	観光業界のマーケティング戦略について理解を深める。
到達目標	マーケティング理論について学び、各企業の事例を通じて理解する。 ワークを通じて、自分だったらどのような戦略を立てるのか、を考えることができる。
評価基準	ワークの発表：40％ 提出物：30％ 小テスト：30％
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	原田 征和　　実務経験　○
実務内容	結婚情報誌ゼクシィの広告営業 3 年 6 か月、JR タワーホテル日航札幌のマーケティング部を 9 年、JR タワーホテル日航札幌の営業を 2 年

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	教員の自己紹介、授業の流れ、評価基準について。
2	3C	Customer（市場・顧客）、Company（自社）、Competitor（競合）の視点で考える。
3	4P①	マーケティング・ミックスについて学ぶ。観光産業のケーススタディ。
4	4P②	ワークを通じて理解する
5	ニーズとウォンツ①	ニーズとウォンツの違いを学ぶ。
6	ニーズとウォンツ②	ワークを通じて理解する。

7	STP①	セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニングについて学ぶ。
8	STP②	ワークを通じて理解する。
9	AIDMA	購買意思決定のプロセスと事例について学ぶ。
10	流通チャネル	旅行商品の流通チャネルについて学ぶ。
11	価格戦略	観光業界における競争市場戦略について学ぶ。
12	SWOT	SWOT 分析のワークを行う。
13	ブランド	ブランディングについて学ぶ。
14	CRM	リピート率を高める事例について学び、ワークを通じて理解する。
15	テスト	テストを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ＩA		
必修選択	選択	（学則表記）	英語検定対策ＩA		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	英検準 2 級予想問題ドリル 英検 2 級予想問題ドリル 英検過去 6 回全問題集		出版社	旺文社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	英語の基礎力を身につける		
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語実用技能検定で目標級に合格する		
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定		
関連科目	インバウンド接客英会話 A、観光英会話ＩA		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	富田 亜矢/松尾智世子	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介、英検について、到達目標について
2	初回テスト	初回テスト実施、目標設定
3	DAY1	筆記＆リスニング対策
4	DAY2	筆記＆リスニング対策
5	DAY3	筆記＆リスニング対策

6	DAY4	筆記＆リスニング対策
7	DAY5	筆記＆リスニング対策
8	DAY6	筆記＆リスニング対策
9	前期テスト	前期テスト実施
10	過去問①	模擬試験
11	解答解説①	解答解説
12	過去問②	模擬試験
13	解答解説②	解答解説
14	過去問③	模擬試験
15	解答解説③	解答解説

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ＩB		
必修選択	選択	（学則表記）	英語検定対策ＩB		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	英検準 2 級予想問題ドリル 英検過去 6 回全問題集		出版社	旺文社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	英語の基礎力を身につける
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語実用技能検定で目標級に合格する
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定
関連科目	インバウンド接客英会話 B、観光英会話ＩB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	富田 亜矢/松尾智世子
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期で行った内容をふり返り検定への準備を行う
2	DAY7	筆記＆リスニング対策
3	DAY7	筆記＆リスニング対策
4	過去問④	模擬試験
5	解答解説④	解答解説
6	過去問⑤	模擬試験

7	解答解説⑤	解答解説
8	過去問⑥	模擬試験
9	解答解説⑥	解答解説
10	後期テスト	後期テスト実施
11	リスニング対策	模擬試験
12	過去問⑦	模擬試験
13	解答解説⑦	解答解説
14	振り返り	1 年間の振り返りと実際に使える英語対策
15	振り返りと総まとめ	1 年間の振り返りと総まとめ、実際に使える英語対策

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアデザインＩA		
必修選択	選択	（学則表記）	キャリアデザインＩA		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	キャリアサポート BOOK		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。
評価基準	授業態度３０％・提出物４０％・面接３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	なし
関連科目	キャリアデザインＩB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	岩渕 穂佳
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	就職活動について	２年間の就職活動の流れを把握する
2	ブライダル業界の仕事について	ブライダル業界の職業・職種について調べ把握する
3	ブライダル関連企業について	ブライダル企業について調べ把握する
4	自己分析①	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
5	自己分析②	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う

6	自己ＰＲ①	自己ＰＲの書き方を学び、作成する
7	自己ＰＲ②	自己ＰＲの書き方を学び、作成する
8	履歴書について①	履歴書を作成する
9	履歴書について②	履歴書を作成する
10	身だしなみについて①	就職活動における身だしなみを理解する
11	身だしなみについて②	就職活動における身だしなみを理解する
12	面接対策	面接の流れ、面接の種類、ポイントを学ぶ
13	面接練習①	模擬面接を実施する
14	面接練習②	模擬面接を実施する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアデザインＩB		
必修選択	選択	（学則表記）	キャリアデザインＩB		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	キャリアサポート BOOK		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な応募書類の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。
評価基準	授業態度３０％・提出物４０％・面接３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	なし
関連科目	キャリアデザインＩA
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	岩渕 穂佳
実務経験	
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	就職活動のスケジュール 就職希望調査	・今後の就職活動の流れを把握する ・アンケートの実施
2	就職先について	就職先業種や種類について理解する 就職情報サイトの活用方法を知る
3	就職活動のルールについて	就職活動のルールや各種届、証明書発行について把握する
4	就職活動の履歴書について	就職活動における履歴書について学ぶ
5	自己 PR①	自己 PR の書き方について学ぶ

6	自己 PR②	自己 PR の書き方について学ぶ
7	志望動機①	志望動機の書き方について学ぶ
8	志望動機①	志望動機の書き方について学ぶ
9	エントリーシートの書き方①	自己 PR、志望動機をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ
10	エントリーシートの書き方②	自己 PR、志望動機をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ
11	企業説明会について	企業説明会の申し込み方法・マナーを学ぶ
12	ＳＰＩ・一般常識対策	ＳＰＩ・一般常識の問題を解き、実力をつける
13	面接指導①	面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ
14	面接指導②	面接練習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ビジネスマナー		
必修選択	選択	（学則表記）	ビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	サービス接遇検定 3 級公式テキスト サービス接遇検定実問題集 3 級		出版社	早稲田教育出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	様々なサービスの現場で求められる知識を習得し、社会人としての考え方やマナーを身につける。
到達目標	サービス接遇検定 3 級に合格する。 就職活動で問われる一般常識問題を理解することができる。
評価基準	検定合格 40%　小テスト 30%　授業態度 20%　提出物 10%
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	サービス接遇検定 3 級
関連科目	なし
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	吉江　妙子　　実務経験　○
実務内容	マナーインストラクター

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ビジネスマナーとは 敬語①　敬語②	接客業におけるビジネスマナーの重要性を知る 敬語 3 種類の理解を学び、二重敬語など今後の話し方も考える 検定対策の為、話す・書くの両方ができるように理解する
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ
3	専門知識 一般知識	サービスの種類や機能について学ぶ 一般知識・ことわざ・慣用句・物の数え方など学ぶ
4	人間関係	職場・来客などのコミュニケーションを良くする方法を学ぶ 一般的なマナーの復習とともに、お客様から信頼される態度や言葉遣いを学ぶ

5	問題処理 環境整備・金品管理 慶事・弔事のマナー	苦情や問い合わせについての対応方法を学ぶ 環境整備はお客様の為に大切な事を理解する 金品管理や金銭授受の言葉と動作、領収書について学ぶ ・祝儀袋の上書き用語・現金の包み方・袱紗などのマナーを学ぶ
6	検定対策①	過去問題より検定対策
7	検定対策②	過去問題より検定対策
8	検定対策③	過去問題より検定対策
9	就職筆記試験対策 英語	一般常識問題（英語）対策
10	就職筆記試験対策 国語	一般常識問題（国語）対策
11	就職筆記試験対策 時事	一般常識問題（時事）対策
12	就職筆記試験対策 社会	一般常識問題（社会）対策
13	就職筆記試験対策 理数	一般常識問題（理数）対策
14	定期テスト	定期テストの実施
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	インバウンド接客英会話 A		
必修選択	選択	（学則表記）	インバウンド接客英会話 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	観光のための初級英単語と用例 みんなの外国語検定ＤＶＤ		出版社	みんなの外国語検協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	基本的なコミュニケーション、実際のホテルやレストランやお店などで使うような英会話力を習得する		
到達目標	日常英会話、ホテル等で接客に必要な英会話話ができるようになる みんなの外国語検定ブロンズ以上に合格できる		
評価基準	授業態度 40% 検定合格 30% 小テスト 30%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	みんなの外国語検定（英語）		
関連科目	観光英会話ＩＡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	Darcy Lewis	実務経験	○
実務内容	英会話講師		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブロンズ	授業の流れ、狙いと到達目標について ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
2	ブロンズ	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
3	シルバー	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
4	シルバー	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
5	ゴールド	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ

6	ゴールド	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
7	カフェ	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
8	カフェ	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
9	寿司	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
10	寿司	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
11	牛丼	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
12	牛丼	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
13	飲食共通	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
14	飲食共通	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ、小テスト
15	復習・検定対策	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	インバウンド接客英会話 B		
必修選択	選択	（学則表記）	インバウンド接客英会話 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	観光のための初級英単語と用例 みんなの外国語検定ＤＶＤ		出版社	みんなの外国語検協会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	基本的なコミュニケーション、実際のホテルやレストランやお店などで使うような英会話力を習得する
到達目標	日常英会話、ホテル等で接客に必要な英会話話ができるようになる。 みんなの外国語検定ブロンズ以上に合格できる
評価基準	授業態度 40% 検定合格 30% 小テスト 30%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	みんなの外国語検定（英語）
関連科目	観光英会話ＩＢ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	Darcy Lewis　　実務経験　○
実務内容	英会話講師

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	コンビニ	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
2	コンビニ	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
3	ドラッグ	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
4	ドラッグ	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
5	100 円ショップ	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ、小テストの実施

6	100 円ショップ	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
7	小売共通	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
8	小売共通	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
9	タクシー	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
10	バス	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ、小テストの実施
11	電車	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
12	電車	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
13	宿泊	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
14	宿泊	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ
15	復習・検定対策	ＤＶＤで聞き取り、会話のニュアンスや文法を学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	観光英会話ＩA		
必修選択	選択	（学則表記）	観光英会話ＩA		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	English for Tourism professional (NATIONAL GEOGRAPHIC Learning)		出版社	三修社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	観光業界で接客する際に英語を使いこなせるようになるための実践英語を身につける		
到達目標	英語を使っての接客の基礎を身につける		
評価基準	テスト 40%、小テスト 20%、提出物＆宿題 20%、授業態度 20%		
認定条件	出席が総時間の 3 分の 2 以上あるもの 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	英語検定対策ＩA		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	オスカル ゴンザレス	実務経験	○
実務内容	英会話教室講師		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 英語の基礎	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 Tourism jobs/Discussion about travel/tourism and Language
2	Introduction	これまで習ってきたような会話の基礎を使ってみる Listening / Dialogue study/Speaking practice /Reading
3	Unit 1 Recommending a tour	ツアーのご案内の仕方
4	Unit 2 Taking tour booking	ツアーの予約の取り方
5	Unit 3 Escorting a tour	ツアーガイド
6	Unit 3 Escorting a tour	同上

7	Unit 4 Welcoming international tourists	海外から来る観光客の受け入れ
8	Unit 4 Welcoming international tourists	同上
9	Unit 5 Taking an airline reservation	航空券の予約の仕方
10	Unit 5 Taking an airline reservation	同上
11	Unit 6 Giving flight information	フライト情報
12	Unit 6 Giving flight information	同上
13	定期テスト	テストの実施
14	Unit 7 Helping passengers check in	乗客のチェックイン
15	Unit 7 Helping passengers check in	同上

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	観光英会話ＩB		
必修選択	選択	（学則表記）	観光英会話ＩB		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	English for Tourism professional (NATIONAL GEOGRAPHIC Learning)		出版社	三修社	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	観光業界で接客する際に英語を使いこなせるようになるための実践英語を身につける
到達目標	英語を使っての接客の基礎を身につける
評価基準	テスト 40%、小テスト 20%、提出物＆宿題 20%、授業態度 20%
認定条件	出席が総時間の 3 分の 2 以上あるもの 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	英語検定対策ＩB
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	オスカル ゴンザレス　　実務経験　○
実務内容	英会話教室講師

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 語彙の復習	英語の基本的な文法や品詞などを振り返り確認、学習する、会話の復習
2	会話の復習	搭乗ゲートでの業務
3	U7 トラブル発生①	機内サービス
4	U7 トラブル発生②	同上
5	U8 業界就職①	CIQ 手続き
6	U8 業界就職②	お部屋の予約の取り方

7	U9 ホテル業務内容①	ゲストのお出迎え
8	U9 ホテル業務内容②	同上
9	U10 料飲部門①	ゲストへのお手伝い
10	U10 料飲部門②	同上
11	U11 トラブル発生①	クレーム対応
12	U11 トラブル発生②	同上
13	テスト	テストの実施
14	振り返り	ゲストお見送り
15	U12 業界対策③	同上

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	手話		
必修選択	選択	（学則表記）	手話		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	手話で学ぼう手話で話そう		出版社	手話で学ぼう手話で話そう	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	聴覚障害者の言語である「手話」の基本と聴覚障害者に関する知識を学ぶ。
到達目標	・接客場面に於ける聴覚障害者への配慮と対応方法を学び、基本的な手話を習得し、実践できる。 ・外見では分かりにくい聴覚障害についての理解を深めながら、実際に聴覚障害者と接した時に、適切な対応ができ、且つ積極的なコミュニケーションをとるための方法を学ぶ。
評価基準	筆記試験：40% 読み取り試験：30% 小テスト：20% レポート：１０％
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	全国手話検定
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	若浜 ひろ子　　実務経験　○
実務内容	札幌市職員向け手話研修・公益社団法人札幌聴覚障害者協会主催・中級手話教室（基礎課程）・他札幌市教育センター、札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター、札幌市小中学校、企業研修に於ける「手話」及び「聴覚障害の理解」の講師を担当

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 講義：聴覚障害・手話について	授業の説明・注意事項 「聴覚障害者・コミュニケーションについて」
2	伝えあってみましょう 自己紹介	身振り、表情を工夫することを考え相手に伝える 手話で挨拶・名前を紹介する。指文字を覚える
3	家族紹介 数を使って話す	自己紹介、家族に関わる手話を覚える 数字の表し方、疑問詞の使い方を知る
4	講義：聴覚障害者の生活Ⅰ 趣味について話す	①ＤＶＤ鑑賞 ②「福祉制度について」 趣味に関わる手話表現が正確にできる

5	仕事について話す 接客の時に使う手話 I	仕事に関わる手話を覚える 接客関係の仕事を中心にいろいろな職業の表し方を覚える
6	講義：聴覚障害者の生活 II 住所を紹介する	「聴覚障害者の生活について～講師の体験～」 住所に関わる手話を覚える
7	まとめ・小テスト 接客の時に使う手話 II	復習・自己紹介のまとめ 読み取りテスト 接客関連単語、例文表現
8	講義：聴覚障害の基礎知識 接客対応例文 I	「耳の仕組み・聞こえの仕組みについて」 接客時に使う会話例文
9	時に関する手話 I	１日・週・１カ月に関わる手話を覚える
10	時に関する手話 II	1 年に関わる手話を覚える。会話練習
11	話してみましょう I	今まで学習した疑問詞を使って会話の練習をする
12	話してみましょう II	病院・学校・職場などの生活場面を想像しながら手話で会話ができる 2 人一組で会話練習
13	接客対応例文 II 手話検定に向けての学習	接客時に使う会話を文を練習する 手話検定 5 級・4 級合格に向けて今まで学習した事の復習を行う
14	定期試験	試験を実施する
15	総まとめ 手話検定に向けての学習	試験の振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコン演習 A		
必修選択	選択	（学則表記）	パソコン演習 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集 3 級・模擬問題集 3 級 30 時間でマスター Word＆Excel 2019		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得		
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる		
評価基準	検定・テスト６０％、課題提出２０％ 授業態度２０％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者		
関連資格	パソコン技能検定 3 級（後期パソコン演習 B にて実施）		
関連科目	パソコン演習 B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	高橋 めぐみ	実務経験	○
実務内容	プログラミング、Web 構築、office 系検定、個人・企業へのホームページ作製業務、WEB 開発など		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC 基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標を把握する PC 基礎知識、タッチタイピング、ソフト、OC の使用方法、リテラシーについて理解する
2	Word 入門①	Word の基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word 入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法を学ぶ
4	Word 入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動を学ぶ
5	Word 活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体を学ぶ
6	Word 応用①	表の作成・編集を実施する

7	Word 応用②	表の作成・編集を実施する
8	文書作成	表入りビジネス文書作成を実施する
9	Excel 入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel 書式設定について理解する
10	Excel 応用①	オート SUM、関数、四則演算を実施する
11	Excel 応用②	グラフの作成、グラフの設定変更を実施する
12	検定対策①	表入りビジネス文書作成練習、学科問題を実施する
13	検定対策②	表入りビジネス文書作成練習、学科問題を実施する
14	前期確認テスト	確認テスト(学科、タイピング、Word 文書作成)を実施する
15	前期パソコン演習 A 復習	前期パソコン演習 A の総まとめ 確認テスト問題解説

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコン演習 B		
必修選択	選択	（学則表記）	パソコン演習 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集 3 級・模擬問題集 3 級 30 時間でマスター Word＆Excel 2019 はじめての PowerPoint 2021		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版 秀和システム	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得		
到達目標	検定合格をすることで、社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる		
評価基準	テスト６０％、課題提出２０％ 授業態度２０％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者		
関連資格	パソコン技能検定 3 級		
関連科目	パソコン演習 A		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	高橋 めぐみ	実務経験	○
実務内容	プログラミング、Web 構築、office 系検定、個人・企業へのホームページ作製業務、WEB 開発など		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	PowerPoint 入門	テキストボックス、図形、画像の挿入等、今まで学んだ Word,Excel を踏まえ PowerPoint の動作を学ぶ
2	パワーポイント基礎①	プレゼンテーションとは、PPT の基本操作を学ぶ
3	パワーポイント基礎②	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成①
4	パワーポイント基礎③	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成②
5	Word 復習	表入りビジネス文書作成と解説

6	Excel 復習①	表計算問題実施と解説
7	Excel 復習②	表計算問題実施と解説
8	Word・Excel 復習	表入りビジネス文書、表計算問題を実施 解説
9	検定対策①	模擬問題実施(学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題)
10	検定対策②	模擬問題実施(学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題)
11	後期テスト	学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題の実施
12	問題解説	確認テスト問題解説
13	パワーポイントプレゼン制作	オリジナルプレゼンテーションの作成
14	パワーポイントプレゼン応用	オリジナルプレゼンテーションにアニメーション、音楽の挿入を行う
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ユニバーサルサービス		
必修選択	選択	（学則表記）	ユニバーサルサービス		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ユニバーサルサービス基本テキスト		出版社	日本能率協会マネジメントセンター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	様々な身体の特長を持つ方を知り、体験を通し、幅のあるサービスができるようになる		
到達目標	障害や、加齢、妊娠などによる身体の変化を知り、体験をすることで、 どのような方にも快適なサービスが提供できるようになる		
評価基準	授業態度 60％ 実技試験 40％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	サービス介助士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	河合 静香	実務経験	○
実務内容	看護士		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 人の命とは？	人間が産まれてくる過程を理解し、命の尊さを知る
2	人が育つということ	妊娠してから成長するまでどのような過程があるのか 妊婦体験
3	障害とは？	障害とはどんなことを言うのか理解する
4	耳が聴こえない世界	耳が聴こえない体験を通じて難聴がある方への介入方法を知る
5	目がみえないとは？	目が見えない体験を通し、視力障害があるかたへの介入を知る

6	四肢障害	車イスを使った実習実施
7	体験を通して①	体験を通して、様々な身体の特長を持った方への介入方法を考える
8	体験を通して②	ホテルや空港で起きやすい事象と、その対応方法を考える
9	振り返り	これまでの振り返り
10	高齢者とは？	高齢者の身体的特長を知る
11	高齢者への関わり	高齢者の身体的特長を理解した上での介入の方法とは？
12	外国人観光客への対応①	日本語が伝わらない方に、どのようなサービスができるのか考える
13	外国人観光客への対応②	外国人への、対応、サービスの実践。
14	総復習	今までの総復習
15	まとめ	学んだことのまとめ、振り返り

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	観光実践Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	観光実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	45
使用教材	講師作成プリント		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	観光業の基本であるホテル・エアライン・旅行業界に関する知識を身につける
到達目標	観光業の魅力をお客様に伝えることができる ホテル・航空・旅行業界それぞれの特性を理解している
評価基準	レポート 50% 発表 30% 授業態度 20%
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	岩渕 穂佳/松本 桂 ／ 実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標、オリエンテーション
2	業界理解①	ホテル・エアライン・旅行・観光業界について理解する
3	業界理解②	業界について調べる①
4	業界理解③	業界について調べる②
5	業界理解④	発表
6	観光地理解①	ニセコについて①

7	観光地理解②	ニセコについて②
8	観光地理解③	北海道内で実施できるアクティビティについて①
9	観光地理解④	北海道内で実施できるアクティビティについて②
10	観光地理解⑤	小樽について①
11	観光地理解⑥	小樽について②
12	宿泊研修①	オリエンテーション
13	宿泊研修②	ホテル見学①
14	宿泊研修③	ホテル見学②
15	宿泊研修④	テーブルマナー講習①
16	宿泊研修⑤	テーブルマナー講習②
17	宿泊研修⑥	企業講話①
18	宿泊研修⑦	企業講話②
19	宿泊研修⑧	企業講話③
20	宿泊研修⑨	観光地見学・アクティビティ①
21	宿泊研修⑩	観光地見学・アクティビティ②
22	宿泊研修⑪	観光地見学・アクティビティ③
23	宿泊研修⑫	小樽散策①
24	宿泊研修⑬	小樽散策②
25	宿泊研修⑭	小樽散策③

26	宿泊研修⑮	小樽散策④
27	宿泊研修振り返り①	宿泊研修振り返り①
28	宿泊研修振り返り②	宿泊研修振り返り②
29	エアライン研修①	エアライン研修オリエンテーション
30	エアライン研修②	空港見学①
31	エアライン研修③	空港見学②
32	エアライン研修④	空港見学③
33	エアライン研修⑤	エアライン企業講話①
34	エアライン研修⑥	エアライン企業講話②
35	エアライン研修⑦	エアライン企業講話③
36	エアライン研修振り返り	エアライン研修振り返り
37	ツアー研修①	ツアー研修オリエンテーション
38	ツアー研修②	旅行会社講話①
39	ツアー研修③	旅行会社講話②
40	ツアー研修④	旅行会社講話③
41	ツアー研修⑤	観光施設見学①
42	ツアー研修⑥	観光施設見学②
43	ツアー研修⑦	観光施設見学③
44	ツアー研修振り返り	ツアー研修振り返り

45	総まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	アウトドア基礎		
必修選択	選択	（学則表記）	アウトドア基礎		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	北海道アウトドアテキスト基礎編		出版社	北海道体験観光推進協議会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	野外活動を通じて、観光の基礎を学ぶ
到達目標	観光業の基礎的な知識が身についている 北海道の観光地を知り、お客様にアクティビティの提案や危険性が説明出来るようになる
評価基準	テスト 50%、レポート 30%、授業態度 20%
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	弘中 祐 ／ 実務経験 ○
実務内容	アウトドアインストラクター

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	観光業とは	観光業全般について学ぶ
3	市内探索オリエンテーション	市内探索をするにあたっての注意点、オリエンテーション
4	市内探索①	市内の施設見学①
5	市内探索②	市内の施設見学②
6	市内探索③	市内の施設見学③

7	市内探索④	市内の施設見学④
8	市内探索振り返り	市内探索振り返り、レポート
9	野外活動オリエンテーション	円山登山、北海道神宮を参拝するにあたっての注意点、オリエンテーション
10	野外活動①	円山登山①
11	野外活動②	円山登山②
12	野外活動③	円山登山③
13	野外活動④	円山登山④
14	野外活動⑤	北海道神宮参拝①
15	野外活動⑥	北海道神宮参拝②
16	野外活動振り返り	円山登山、北海道神宮参拝振り返り、テスト
17	キャンプ実習オリエンテーション①	キャンプ実習の内容説明と準備
18	キャンプ実習オリエンテーション②	キャンプ実習のための準備①
19	キャンプ実習オリエンテーション③	キャンプ実習のための準備②
20	キャンプ実習オリエンテーション④	アクティビティのための準備①
21	キャンプ実習オリエンテーション⑤	アクティビティのための準備②
22	キャンプ実習オリエンテーション⑥	キャンプ中に起こり得るケガと対応
23	デイキャンプ実習①	移動
24	デイキャンプ実習②	アクティビティオリエンテーション
25	デイキャンプ実習③	アクティビティ実施①

26	デイキャンプ実習④	アクティビティ実施②
27	デイキャンプ実習⑤	バーベキュー準備
28	デイキャンプ実習⑥	バーベキュー実施①
29	デイキャンプ実習⑦	バーベキュー実施②
30	デイキャンプ実習⑧	移動

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	レストランサービス検定対策Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	レストランサービス検定対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	西洋料理料飲接遇サービス技法 レストランサービス技能検定 学科試験合格をめざして		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	国家検定試験受検に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する		
到達目標	国家検定 レストランサービス技能士 3 級 学科試験合格		
評価基準	授業態度 20% 各章のまとめ 20%× 4 回		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	レストランサービス演習Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	大川 綺萌	実務経験	○
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年（レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 食材・飲料等の基礎知識 1	授業の流れ、到達目標について 食品の分類別特徴、食品の管理、西洋料理に使用される主な食材について
2	食材・飲料等の基礎知識 2	西洋料理に使用される主な食材について
3	食材・飲料等の基礎知識 3	一般的な西洋料理調理法等について
4	まとめ	演習問題を実施する
5	料飲概論	アルコール飲料について

6	食材・飲料等の基礎知識 4	ワインの知識、その他の飲料について
7	食材・飲料等の基礎知識 5	メニュー構成について
8	まとめ	演習問題を実施する
9	食材・飲料等の基礎知識 6	食器類について 料飲サービススタッフの役割と求められる資質について
10	宴会とレストランサービス 1	料理と飲み物のサービスについて
11	まとめ	演習問題を実施する
12	宴会とレストランサービス 2	レストランにおける接遇について
13	宴会とレストランサービス 3	ワゴンサービスについて
14	宴会とレストランサービス 4	一般的な救護方法ならびに食事のサービスマナーについて
15	総まとめ	総まとめの演習問題を実施する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	エンターテイメント演習 I		
必修選択	選択	(学則表記)	エンターテイメント演習 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	HBA オフィシャルバーテンダーズブック		出版社	(一社)日本ホテルバーメンズ協会	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	ホテルバーについての基礎知識を学ぶ		
到達目標	各酒の基礎知識が身についている 各酒の種類の概要について、説明することができる		
評価基準	小テスト：60% 実技：20% 授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	山本 悠介	実務経験	○
実務内容	ホテル料飲・宴会部門勤務、バーテンダー		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第 1 章 HBA 学	授業の流れ、到達目標について、成績評価について 日本のホテル史・ホテルバー史
2	第 2 章 酒の基礎知識	酒の出現と人類の関わり 酒造りの原理、酒類の分類
3	第 3 章 醸造酒の概要①	ワインの概要、歴史、原料、栽培、製造工程
4	第 3 章 醸造酒の概要②	ワインのタイプ、各国のワイン
5	第 3 章 醸造酒の概要③	ビールとは何か、歴史、原料、製造工程、世界のビールとその種類 清酒とは何か、歴史、原料、製造工程、清酒の製造において使われる用語、小テスト

6	第 4 章 蒸留酒の概要①	ウィスキーとは何か、誕生とその歴史、製造工程、世界のウィスキーとその特徴
7	第 4 章 蒸留酒の概要②	ブランデーとは何か、歴史、原料と製造工程、種類
8	第 4 章 蒸留酒の概要③	ジン、ウォッカ、ラム、テキーラとは何か、歴史、原料と製造工程、種類、小テスト
9	第 5 章 混成酒の概要	リキュールとは何か、歴史、原料、製造工程、種類
10	第 6 章 ソフトドリンクの概要	人間と飲み物の必要性、ソフトドリンクの定義と分類
11	第 7 章 副材料の基礎知識	副材料とは何か、ハーブ・スパイス類・柑橘系フルーツ類・その他のフルーツ類・野菜・砂糖・シロップの種類と特徴、小テスト
12	第 8 章 バー・ツール＆グラスの基礎知識	バー・ツール、グラス
13	第 9 章 カクテル調合の基礎知識	カクテルの語源、何か、歴史、４つのカクテル調整技法、スタイル、氷、デコレーションの基礎知識、調整の手順、注意点
14	カクテル創作実習	今まで学んだ知識を活かして、カクテルを作成する
15	総まとめ	今までの総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ホテル実務実習		
必修選択	選択	（学則表記）	ホテル実務実習		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	宿泊業務の基礎		出版社	一般社団法人 日本ホテル教育センター	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ホテルの基礎知識を身に付け、マネジメントの観点からホテルを理解する
到達目標	・ホテル業界の基礎知識を身に付行ける ・ホテル業務について実習を通して体得する ・マネジメントの観点からホテルを理解する
評価基準	・筆記テスト３０％ ・実技テスト３０％ ・小テスト２０％ ・授業態度・提出物２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	
関連科目	ホテルマネジメント A、ホテルマネジメント B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	大内 智博 / 実務経験 / ○
実務内容	ホテル宿泊部門勤務、ホテル総支配人

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第 1 章 宿泊業の基本	授業の進め方と到達目標について 宿泊業の定義と分類 旅館業の営業区分・種別
2	オリエンテーション 第 1 章 宿泊業の基本ワーク	学習課題の中から個人ワーク、もしくはグループワーク
3	第 2 章 ホテルにおける 宿泊部門と業務の基本	旅館とホテルの相違点 サービスの定義 宿泊部門の使命と役割
4	第 2 章 ホテルにおける 宿泊部門と業務の基本	宿泊部門におけるスタッフの姿勢と基本知識 今後求められる能力と資質
5	第 2 章 ホテルにおける 宿泊部門と業務の基本	学習課題の中から個人ワーク、もしくはグループワーク

6	第 3 章 宿泊部門の業務	オペレーション・サイクルとゲスト・サイクル オペレーション・サイクルにおける対応と相当業務
7	第 3 章 宿泊部門の業務	タイプ別に見る宿泊部門の位置付け 新型コロナ・ウイルス感染症がもたらしたニュー・ノーマルと新たな対応
8	第 3 章 宿泊部門の業務ワーク	学習課題の中から個人ワーク、もしくはグループワーク
9	第 4 章 ロビー・サービス	ロビー・サービスとは ドア・パーソンの業務ベルパーソンの業務
10	第 4 章 ロビー・サービスとワーク	クロークの業務 ロビー・サービスにおける苦情の原因と対処方法 学習課題の中から個人ワーク、もしくはグループワーク
11	第 5 章 ハウスキーピング 第 6 章 フロント・オフィス	ハウスキーピングとは 客室タイプとレイアウト ハウスキーピング業務の流れ 環境問題に本腰を入れ始めた国内ホテル業界 ハウスキーピングにおける苦情の原因と対処方法 フロント・オフィスの位置づけ
12	宿泊業務実習①	フロント、ベルスタッフの業務内容の実践
13	宿泊業務実習②	客室アテンド業務、客室内説明の実践
14	宿泊業務実習③	宿泊業務に関する業務内容の実践まとめ
15	総まとめ	これまでの宿泊業務に関するまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習 I		
必修選択	選択	（学則表記）	レストランサービス演習 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	国家検定試験受検に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する
到達目標	国家検定レストランサービス技能士 3 級 実技試験合格を目標として、ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる
評価基準	実技テスト 40% まとめ実践（グループ評価）40% 授業態度 20%
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級
関連科目	レストランサービス検定対策 1・II レストランサービス演習 II
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	山本 悠介
実務経験	○
実務内容	ホテル料飲・宴会部門勤務、バーテンダー

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本動作	授業の流れ 到達目標について 立ち居振る舞いの実践
2	接客用語 来店・退店のご案内	接客用語について 店内の誘導、離着席時の補助
3	什器備品の知識 1 サービストレイの扱い方	シルバーウェアーの名称と用途について トレイサービス実践
4	サーバーの扱い方	サーバーを使用したサービスの実践

5	水とワインのサービス	水・ワインの注ぎ方を実践する
6	什器備品の知識 2 リネングッズの扱い	リネン類の名称と用途について ナフキンホールドとクロス掛けを実践する
7	テーブルセッティング 1	朝食と昼食のセッティングについて実践
8	テーブルセッティング 2	フランス料理フルコースについて実践
9	プレートサービス	料理皿の扱い実践
10	まとめ	学んだことを実践する
11	グループワーク 1	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
12	グループワーク 2	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
13	グループワーク 3	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
14	グループワーク 4	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
15	総まとめ	振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	国内地理Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	国内地理Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	国内観光資源		出版社	ＪＴＢ総合研究所	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	国内観光地理および資源における必要な知識について学ぶ。		
到達目標	国家試験・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す		
評価基準	テスト：50％ 小テスト：30％ 提出物：20％		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	総合旅行業務取扱管理者		
関連科目	国内旅行業務取扱管理者Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	辻川 千尋	実務経験	○
実務内容	旅行会社勤務 9 年、添乗員 7 年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、日本の地理における一般常識、到達目標について
2	北海道・北東北	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
3	南東北	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
4	関東	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
5	北陸	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
6	中部	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。

7	関西の知識	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
8	中国地方の知識	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
9	四国の知識	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
10	北九州の知識	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
11	南九州・沖縄の知識	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
12	全国の観光資源のまとめテスト	日本全国における観光資源の総合テスト
13	国立公園・世界遺産	区域の概要、観光資源について学ぶ。
14	国家試験 最終対策	過去の試験問題等による総合テスト
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ＪＲ運賃計算Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	ＪＲ運賃計算Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	国内運賃・料金		出版社	JTB 総合研究所	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	JR をはじめとする各種交通機関の運賃料金、宿泊料金を理解する
到達目標	国内旅行業務取扱管理者合格を目指す
評価基準	模擬試験：40％ 小テスト：30％ 提出物：30％
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	国内旅行業務取扱管理者Ⅰ
関連科目	旅行業約款 国内運賃・料金 国内地理
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	熊谷 小百合
実務経験	○
実務内容	旅行会社カウンター勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第一部 旅客鉄道会社（JR）	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 第一章 旅客営業規則の概要等/第二章 乗車券類発売概要(年齢区分まで)
2	第一部 旅客鉄道会社（JR）	乗車類販売概要（乗車券類の発売）/第三章 運賃（普通乗車券の効力まで）
3	第一部 旅客鉄道会社（JR）	第三章 運賃（個人割引・団体割引）
4	第一部 旅客鉄道会社（JR）	運賃チェックテスト実施/第四章 料金
5	第一部 旅客鉄道会社（JR）	第四章 料金（新幹線内乗継まで）
6	第一部 旅客鉄道会社（JR）	第四章 料金（乗継割引）

7	第一部 旅客鉄道会社（JR）	第四章 料金（乗継割引/北陸新幹線の取り扱い/東海道・山陽・九州新幹線の取り扱い等）
8	第一部 旅客鉄道会社（JR）	第五章 変更・取消し・払戻し
9	第二部 航空	第一章 航空券販売の概要/第二章 運賃・料金/変更・取り消し・払い戻し等
10	第二部 航空	JR・国内航空 総まとめ
11	第三部 貸切バス・フェリー	貸切バスの運賃・料金等/フェリーの運賃料金等
12	第四部 宿泊	宿泊の概要/宿泊料金等/変更・取り消し・払い戻し
13	総合まとめ	過去問を解く
14	総合まとめ	過去問を解く
15	総合まとめ	過去問を解く

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	旅行業法Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	旅行業法Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	旅行業法及びこれに基づく命令 旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問題集 2 旅行業法・約款 2024 年対策		出版社	JTB 総合研究所	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指し、旅行業に関する法制度を理解し、身につける。 ・旅行業等を営む者にとって遵守すべき事柄を規定した法律であることを理解しつつ、目的やそれらを達成する為に設けられた制度と旅行実務についての知識を深める。
到達目標	・国内旅行業務取扱管理者試験における「旅行業法」において合格ラインレベル以上を身につける。 ・旅行業法及びこれに基づく法令を理解し、観光業界就職を目指す原動力とする。
評価基準	模擬試験：40% 小テスト：35% 提出物：25%
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	国内旅行業務取扱管理者・旅程管理主任者
関連科目	国内旅行業務取扱管理者Ⅰ 旅行業約款 国内旅行実務（国内運賃料金 国内観光資源・地理）
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	熊谷 小百合
実務経験	○
実務内容	旅行会社カウンター勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 旅行業法第 1 章 総則	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 旅行業の現状説明・概要および旅行業法の目的と定義
2	旅行業法第 2 章 旅行業等①	旅行業及び旅行業者代理業者、旅行サービス手配業の登録制度について
3	旅行業法第 2 章 旅行業等②	営業保証金制度について①
4	旅行業法第 2 章 旅行業等③	営業保証金制度について②、旅行業務取扱管理者

5	旅行業法第 2 章 旅行業等④	習熟度テスト、旅行サービス手配業務取扱管理者について 料金の掲示・旅行業約款
6	旅行業法第 2 章 旅行業等⑤	取引条件の説明・書面の交付 外務員の証明書の携帯等 広告・標識の掲示
7	旅行業法第 2 章 旅行業等⑥	旅程管理 禁止行為 受託契約 旅行業者代理業者
8	旅行業法第 2 章 旅行業等⑦	旅行業者代理業者 事業の廃止等・業務改善命令・登録の取り消し等
9	旅行業法第 3 章 旅行業協会①	習熟度テスト、旅行業協会について
10	旅行業法第 3 章 旅行業協会②	旅行業協会、弁済業務保証分担金について
11	旅行業法第 4 章雑則 旅行業法第 5 章 罰則 その他関連法規	雑則、罰則、景表法、消費者契約法、個人情報保護法の概要、習熟度テスト
12	全体の解説とまとめ	練習問題等にて傾向と対策の実践
13	模擬試験第 1 回目	検定試験に向けての対策を行う
14	模擬試験第 1 回目解答・解説	前回の模擬試験の解答と解説等
15	模擬試験解答・解説 過去問演習	直前の模擬試験の解答と解説 過去問にて総復習

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	旅行業約款Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	旅行業約款Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	旅行業実務シリーズ 旅行業約款、運送・宿泊約款		出版社	JTB 総合研究所	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	国内旅行業務取扱管理者合格を目指し、必要な知識を身につける
到達目標	国内旅行業務取扱管理者資格 合格
評価基準	模擬試験：40% 小テスト：30% 提出物：30%
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者
関連資格	国内旅行業務取扱管理者
関連科目	国内旅行業務取扱管理者Ⅰ 国内運賃・料金 国内地理
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	熊谷 小百合
実務経験	○
実務内容	旅行会社カウンター勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第一章 総則	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 適用範囲/用語の定義/旅行契約の内容(募集型・受注型・手配旅行)
2	第二章 契約の締結/第三章 契約の変更	契約の申込み/契約締結の拒否/契約成立時期等（募集型・受注型・手配旅行）
3	第三章 契約の変更/第四章 契約の解除	旅行者の解除権/旅行会社の解除権等（募集型・受注型・手配旅行）
4	第五～七章 団体・グループ契約等	団体・グループ契約/旅程管理/責任（募集型・受注型・手配旅行）
5	第七章 責任	旅程保証/特別補償 （募集型・受注型・手配旅行）
6	第七章 責任	特別補償 （募集型・受注型・手配旅行）

7	旅行相談契約の部	旅行相談契約/理解度チェックテスト
8	国内旅客運送約款	国内旅客運送約款について
9	国内旅客運送約款	国内旅客運送約款について/理解度チェックテスト
10	貸切バス・フェリー標準運送約款	貸切バス/フェリー標準運送約款
11	フェリー標準運送約款・モデル宿泊約款	フェリー標準運送約款/モデル宿泊約款
12	総合まとめ	貸切バス/フェリー標準運送約款/モデル宿泊約款 チェックテスト
13	総合まとめ	過去問を解く
14	総合まとめ	過去問を解く
15	総合まとめ	過去問を解く

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エアライン業界総合 I		
必修選択	選択	（学則表記）	エアライン業界総合 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	エアライン・ビジネス入門 第 2 版		出版社	晃洋書房	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	エアライン業界の基礎知識および空港旅客業務の業務内容と基礎知識を習得する
到達目標	エアライン業界の歴史と現状及び航空各社の経営戦略について理解することができる。 航空業界用語および日本と海外の主要空港と航空会社の 2 レター、3 レターを理解し、覚えている。 空港旅客業務の内容を理解し、説明する事が出来る
評価基準	テスト：30% 小テスト：20% 提出物：20% 意欲・態度：30%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	空港カウンター演習 I
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	亀倉 麻紀子 / 実務経験 / ○
実務内容	航空会社勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について グランドスタッフの業務内容について考える
2	航空会社事業論	航空会社の関連事業（航空直結事業関連会社と周辺事業会社）について学ぶ 旅客ハンドリング会社について学ぶ
3	空港業務と旅客ハンドリング①	グランドスタッフに求められる人材像について考える グランドスタッフの業務内容について詳しく学ぶ
4	空港業務と旅客ハンドリング①	ステーション・オペレーションとグランドハンドリングについて学ぶ
5	エアライン・ビジネスとは	エアライン・ビジネスの特徴、特性について学ぶ

6	エアライン・ビジネスの歴史①	航空行政の歴史を知りさまざまな観点から学ぶ
7	エアライン・ビジネスの歴史②	日本の民間航空の歴史について学ぶ
8	日本の空港①	空港の種類と数、位置づけを理解する 日本の主要な空港と空港 3 レターについて学ぶ
9	日本の空港②	空港の機能と施設・設備について学ぶ 空港の課題とこれからの空港について学ぶ
10	日本のエアラインと LCC	日本の主要な航空会社と航空会社の 2 レター3 レターについて学ぶ LCC の概要と日本の LCC について学ぶ
11	航空業界用語	旅客ハンドリング用語と略語、アルファベットの読み方を学ぶ
12	航空機メーカーと機種①	航空機のメーカーと機種について学ぶ
13	航空機メーカーと機種②	航空機のメーカーと機種について学ぶ
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エアライン面接対策Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	エアライン面接対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	CA GS エアライン受験対策 書き込み式テキスト 2024 年就職版		出版社	ペンコム出版	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	航空会社が求める人物像を理解し、エアライン採用試験突破のために必要なスキルを体得する		
到達目標	航空会社が求める人物像を理解し、エアライン採用試験突破のために必要なスキルを身に付ける		
評価基準	意欲・態度：60％ 提出物：40%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	林 美香	実務経験	○
実務内容	航空会社勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について、目標設定
2	序章	身だしなみ、エアライン面接メイク・ヘアメイク実践
3	第 1 章	航空業界研究
4	第 2 章	職種研究
5	第 3 章	自己分析
6	第 3 章	自己 PR

7	第 4 章	日本の航空史と企業研究
8	第 4 章	志望動機
9	第 5 章	第一印象と動画面接
10	第 6 章	入退室のマナー/エアライン面接試験の特徴
11	第 6 章	面接練習①
12	第 6 章	面接練習②
13	第 6 章	面接練習③
14	第 7 章	グループディスカッション
15	第 7 章	グループワーク

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	エアライン英会話 I		
必修選択	選択	（学則表記）	エアライン英会話 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	飛行機・空港の英会話		出版社	NOVA ホールディングス株式会社	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	グランドスタッフとして接客に必要なビジネス英会話ができるようになる。		
到達目標	グランドスタッフとして接客に必要なビジネス英会話ができるようになる。		
評価基準	実技テスト：40％ 筆記テスト：30％ 授業態度：30％		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	Darcy	実務経験	○
実務内容	英会話講師		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	基礎知識①	お金の数字・通貨・時間の表現について
3	基礎知識②	看板・パスポートの見方について
4	基礎知識③	空港内の設備について
5	出国時①	フライトの情報の確認について 1
6	出国時②	フライトの情報の確認について 2

7	出国時③	チケットの手配について
8	出国時④	チェックインカウンターについて
9	出国時⑤	手荷物検査・セキュリティチェックについて
10	出庫時⑥	空港アナウンスについて①
11	出国時⑦	空港アナウンスについて②
12	出国時⑧	トラブル発生時の対応
13	出国時⑨	免税店について
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	空港カウンター演習Ⅰ		
必修選択	選択	（学則表記）	空港カウンター演習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	ＡＮＡグランドスタッフ入門 最新版		出版社	イカロス出版	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	グランドスタッフとして即戦力となり得る知識、振る舞いを身に付ける
到達目標	グランドスタッフとしての基礎知識を身に付ける カウンターでのチェックイン業務、搭乗ゲート業務、到着業務の基本動作が出来るようになる
評価基準	実技テスト：40% 小テスト：20% 提出物：20% 意欲・態度：20%
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	
関連科目	エアライン業界総合Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	林 美香
実務経験	○
実務内容	航空会社勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について、GS の仕事とは
2	GS としての基本マナー①	身だしなみ、エアラインメイク・ヘアメイク実践
3	GS としての基本マナー②	グランドスタッフに相応しいマナー
4	GS としての基本マナー③	小テスト、立ち居振る舞い
5	カウンター業務・基本①	チェックイン業務について
6	カウンター業務・基本②	手荷物のルールと手荷物預かり業務の実践

7	カウンター業務・基本③	チェックイン業務シミュレーション
8	アナウンス基礎①	アナウンス座学
9	アナウンス基礎②	アナウンス座学
10	搭乗ゲート業務	搭乗ゲート業務について
11	アナウンス実習①	搭乗ゲートにおけるアナウンス実習
12	アナウンス実習②	搭乗ゲートにおけるアナウンス実習
13	到着業務	到着業務について
14	総まとめ	総まとめ
15	実技テスト	実技テスト実施

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ		
必修選択	選択	（学則表記）	インターンシップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	60
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②	
授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる
評価基準	企業側評価 75 点（評価表にて採点）、学校評価 25 点（レポート）
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者
関連資格	なし
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	岩渕 穂佳　　実務経験
実務内容	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります